

概要版

大川市第6次総合計画

2020年度～2029年度

人と人がつながり

誰もが生きがいを感じられるまち

ずっと大川 ずーっと大川

大川市

まちづくりビジョン ～ずっと大川 ずーっと大川～

大川市は、まちづくりの基本的な姿勢や考え方を示す「まちづくりビジョン」に【人】【創造・共生・共創】を掲げ、令和2年度から10年間のまちづくりの指針として「大川市第6次総合計画」を「第2期大川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と併せて策定しました。

人

大川市が、将来にわたって魅力あるまちであるためには、「人」が集まり、「人」を育み、「人」が支え合うことが大切です。私たちは魅力あるまちに必要な「人」をビジョンとし、経済社会を担う人材を集め、将来を担う人材を育み、地域において人と人が支え合う社会と、目的を持って人が集まるまちづくりを目指します。

創造

まちを支える活力に満ちた力強い産業を振興し、働く人の意欲や活気にあふれる経済環境を整備するために「創造」をビジョンとし、産業における新たな価値や働く場の創出と地域経済の活性化により、人が集まり活力にあふれるまちづくりを目指します。

共生

複雑化する社会情勢や生活環境の変化に対応し、いつまでも「住みたいまち」を築いていくために、将来のまちの姿について、市民と共に考え、みんなが個性や価値観を認め合い、共に支え合い、生きがいを感じ共に暮らす「共生」をビジョンとし、誰一人取り残さない魅力あるまちづくりを目指します。

共創

私たちのまちには古くからの歴史や伝統が数多く残っています。クリークをはじめとした自然環境についても、未来へつなぐ大切な財産です。私たちは「共創」をビジョンとし、市民と行政が一体となり、快適で潤いのある都市空間を創出し、人と自然に調和したまちづくりを目指します。

まちづくりビジョン実現に向けた取り組み(SDGsの推進)

まちづくりビジョンの実現に向け、これから多様化・複雑化するさまざまな社会問題や地域課題へ対応するためには、これまでの取り組みを客観的に把握し、見直すことが重要です。

そこで、SDGs※という世界共通の目標を活用し、また、SDGsが重要視する経済・社会・環境の三側面の統合的な考え方を取り入れるとともに、「自助」「互助」「共助」「公助」の視点を踏まえ、本市が抱える様々な課題について、三側面にわたる相互関係を認識し関係者間の連携を図りながら、新しい価値を創出し、地域の経済・社会・環境が好循環する持続可能なまちづくりを目指します。また、市民一人ひとりがSDGsの理念を理解し、行動に移すことを目指し、市民等への普及啓発に取り組んでいきます。

SDGs17の目標

エス・ディー・ジーズ
※SDGsとは、2015年に国連サミットで採択されているもので、持続可能な世界を達成するための17のゴールと169のターゲットで構成される「持続可能な開発目標」のことです。





SDGs の視点からの まちづくりってどんなこと？

令和2年度、市立中学校4校は「大川桐英中学校」「大川桐薫中学校」へ統合されます。
新しい学校には、同じ筑後川流域である九州北部豪雨被災地の朝倉市・東峰村産の木材を使って、
大川の木工技術を活かし、生徒の机・椅子を製作しました。

SDGs の観点から見ると、①環境 ②経済 ③社会 の相乗効果・好循環が見えてきます。

- ① 筑後川上流の木材を使うことで、流域の山を守り、川・海を守ります。【環境保全の推進】
- ② 木材の加工に地元大川の木工技術を活かすことで、産業が振興します。【産業の振興と活性化】
- ③ 子ども達に環境や郷土を大切にする心を醸成し、大川市の未来へと繋がります。【未来へ繋ぐ教育】



大川桐薫中学校



大川桐英中学校

大川市への誇りと愛着UP

大川のまち・ひと・しごとに触れ、大川の魅力を未来へ引き継ぐ

経済

木材の加工に地元大川の木工技術を活かすことで、産業が振興します

産業の振興と活性化

社会

子ども達に環境や郷土を大切にする心を醸成し、大川市の未来へと繋がります

未来へ繋ぐ教育

環境

筑後川上流の木材を使うことで、流域の山を守り、川・海を守ります

環境保全の推進

地産地消による消費拡大

被災地や地元産のものを積極的に使って、経済力UP

環境教育による共生意識の向上

自然環境について学び、環境との共生意識を醸成



行政経営

市民や地域団体・NPO・民間事業者等とあらゆる場面で連携し

協働によるまちづくりの推進

まちづくりビジョンにおける分野と基本目標

経済

基本目標①

～価値の『創造』と 活力にあふれるまち～

地域経済の活性化のために、新たな価値の創造を支援するなど、産業振興や雇用の確保を図ることで、まちを支える力強い産業の発展と、人が集まり地域が活力にあふれる持続可能なまちを目指します。



- ① 産業の振興と活性化
★1. インテリア産業・商業 ★2. 農水産業 ★3. 観光振興・地域交流
- ② 雇用の安定と企業誘致
★4. 雇用創出・就労支援・企業誘致
- ③ 環有明海地域の連携と活性化
★5. 広域的産業・観光振興の連携強化と拠点づくり
- ★は総合戦略に位置づけられる重点施策

社会

基本目標②

～人を育み、共に支え合い 『共生』するまち～

未来を担う子どもたちや産業、地域を担う「人」を育み、子どもから高齢者まで全ての「人」がお互いに認め合い、支え合う社会を形成し、大川市の未来を全ての市民（地域団体・NPO・民間事業者等）と共に考え共生できる、快適で住み続けたいまちを目指します。



- ① 子育て支援・教育の充実
★6. 子育て支援 ★7. 学校教育 8. 社会教育・青少年教育
- ② 健康・保健・福祉の充実
9. 地域福祉 ★10. 高齢者福祉 11. 障がい者（児）福祉
★12. 健康・保健・医療 13. 社会保障
- ③ 市民生活の充実
★14. 公共交通 15. 人権・男女共同参画 16. 生涯学習・文化芸術・スポーツ
★17. 新たな情報技術の活用 18. 国際交流
- ④ 安全安心なまちづくりの推進
★19. 防災 20. 交通安全 21. 防犯・消費者保護
- ★は総合戦略に位置づけられる重点施策

環境

基本目標③

～人と自然に調和した 都市空間を『共創』するまち～

市民と行政が一体となって、環境負荷を低減する循環型社会の形成と、生活環境の充実を図ることで快適で潤いのある都市空間を創出し、人と自然に調和したまちを目指します。



- ① 環境保全の推進
22. 自然環境の保全 ★23. 景観・まち並みの保全
- ② 低炭素・循環型社会の形成
★24. ごみの減量化 25. 食育・地産地消の推進
- ③ 生活環境の充実
26. 住環境 27. 道路 28. 公園・クリーク 29. 上下水道 30. 適正な土地利用
- ★は総合戦略に位置づけられる重点施策

行政経営

基本目標④

～持続可能なまちづくり～

大川市が目指す10年後のまちづくりを進めていくために、行財政改革や公共施設の最適化など健全な行政経営により、的確に施策を実行するための土台づくりを行政が行い、SDGsの推進をはじめとして、市民（地域団体・NPO・民間事業者等）と協働して持続可能なまちづくりに取り組みます。



- ① 総合計画・総合戦略の推進
★31. SDGsの理念に基づいた計画推進
- ② 行財政運営
32. 行財政改革 ★33. 公共施設最適化 ★34. 連携体制
- ③ 市民との協働
35. 市民（地域団体・NPO・民間事業者等）との協働
- ★は総合戦略に位置づけられる重点施策